

6年理科「人や動物の体」 学習ワークシート4

学習の進め方

1つ1つ、順番に進めましょう。自分の考えや調べたことを必ず書きましょう。

第4時 体に吸収されたもののゆくえ(2)

前は、調査その2まで取り組みました。今回はその続きです。
さらに深く考え、よりよい考えをつくりだしていきましょう。



【学校動画】理科動画6年理科から「6年理科4」を見ましょう。

学習問題3

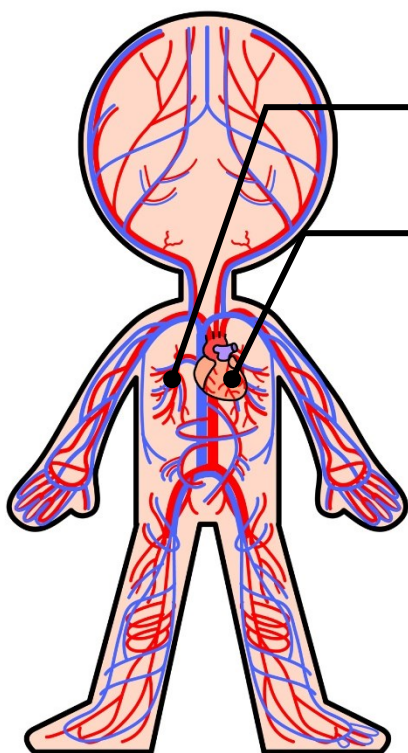
体に吸収されたものは、どのようにして全身に運ばれるのだろうか。

調査(その3)

教科書
p.40-

教科書 p. 40, 41 を開きましょう。

- ①声に出して読みましょう。
- ②p. 41 の右上「大切な言葉」を文章の中で見つけ、赤えんぴつで下線を引きましょう。
- ③下の図の〔 〕に当てはまる言葉を書きましょう。
(覚える言葉です。必ず漢字で書きましょう。)



肺では、呼吸によって血液中に〔 〕が
取りこまれる。また血液中の〔 〕を
外に出す。

〔 〕から血液を肺や全身に送り出す。

小腸では、吸収された〔 〕を血液中に
取り入れる。

小腸で吸収された養分は、〔 〕に運ば
れ一部がたくわえられる。必要な時に血液中に
もどされる。

血液は、血管を通過して全身にいきわたり酸素や養分
を運ぶ。各部分では〔 〕を受け取り
肺にもどす。

①～③までできたら、動画の続きを見て答え合わせをしよう。
書けたら、動画の続きを見よう！



考察（その2）

※動画を止めて、自分の考えを書きましょう。

(1) 自分がワークシート3に書いた予想は、合っていましたか。

自分の予想は、(合っていた ・ ちがっていた)。

(2) 調査結果をかんたんに説明し、それをまとめるとどんなことが言えるかを書きましょう。

(3) 新しく気付いたことや、まだ分からないことを書きましょう。



考察（その2）が書けたら、【学校動画】「6年理科4」の続きを見ましょう。
そのあと、動画を見て、結論を書きましょう。

結論

- ・肺で吸収された酸素は、〔 〕に取り入れられ、〔 〕に運ばれる。
そこから、全身に送られる。
- ・小腸で吸収された養分は、〔 〕に取り入れられ、全身に運ばれる。



ここまでの学習で、酸素や養分については確認しましたが、生物が生きていくのに必要な「水」は小腸で吸収されたあと、どうなるのでしょうか。
もう少し調べてみましょう。



【学校動画】「6年理科4」の続きを見て、今後の学習の流れを確認しましょう。

追加調査 小腸で吸収された水（水分）はどうなるか、調べる。教科書
p.42

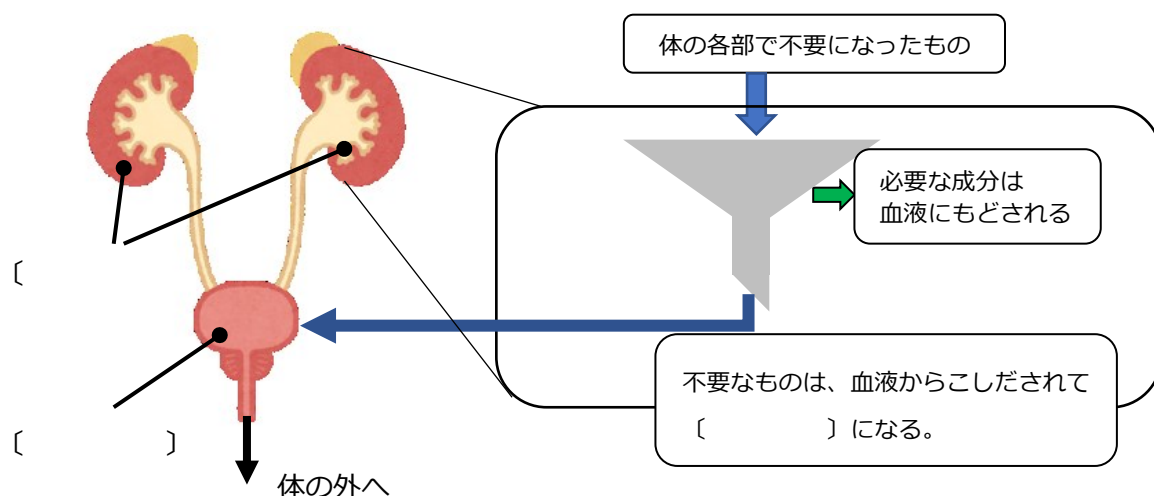
◇教科書 p. 42 を開きましょう。

①声に出して読みましょう。

②教科書右側の「大切な言葉」を文章の中で見つけ、赤えんぴつで下線をひきましょう。



NHK for School「体の中の不要な物はどこへいく？」を見ましょう。

**結果** ※〔 〕に当てはまる言葉を入れましょう。

書き終わったら、動画の続きを見ましょう。



■まとめてみよう 1 解答らん

教科書
p.44

(1)	ア	イ
	ウ	エ
	オ	カ
	キ	
(2)	取り入れているもの	出しているもの
(3)		
(4)		

◇学習感想を書きましょう。

★発展課題 ～時間のある人は、やってみましょう。

- ・今まで学習してきた教科書のページにある「資料」を読んでみましょう。
- ・NHK for School ふしぎ情報局「流れる血液」を見てみましょう。



ワークシートを使ったオンライン学習、とてもよくがんばりました。
ワークシートは、次の登校日に忘れずに提出しましょう。
できなかった実験は、学校がスタートしたらやりましょうね。

